



2009～2010年度

国際ロータリー第2640地区

第29回 R. Y. L. A.
(青少年指導者養成プログラム)
報告書

メインテーマ 『人生の目標』

研修テーマ 「人生を楽しくすごす為のマナー」

サブテーマ；田辺の風土に親しもう



2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

場所：和歌山県田辺市目良 元島館
日時：平成22年3月20日(土)～21日(月)
《国際ロータリー第2640地区》 ガバナー;村上有司
主催：地区青少年ライラ活動委員会

ライラセミナー・メインテーマ

「人生の目標」

第29回のライラセミナーは「しつけ（マナー）」をもう一度考えて頂きどのような事に気配りをしたら人生を楽しく過ごせるのかを研修を通じて体験して頂こうと企画致しました。研修テーマ「人生を楽しむ為のマナー」です。

国際ロータリー第2640地区青少年ライラ委員会は地域の若者が明日に向かって、自らが積極的に活動できる個性を持ち、素晴らしいリーダーとして育てていただくために、このライラセミナーを開催致します。

（国際ロータリーでは、第2640地区とは、大阪府の大和川以南と和歌山県全体部分を指します。ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARD を略してRYLA:ライラと呼んでいます）

今回、始めて出会う人との生活を通しての研修ということで不安も一杯という状態で参加される方も多くおられるでしょう。また3日間も知らない人の中で過ごすことが初めてという方もあるでしょう。でも心を開いて新しい友人・仲間づくりをして下さい。討論・研修体験・食事作り・その他の事を通して同じ班の方・また 同じ部屋の方と仲良くなって頂きたいと存じます。

この機会に、チームの中における自分の存在感を示し、与えられた討論テーマに対して自分の考えをどう表現し反映させるかを体験し討論や研修を通して研修メンバーのリーダーシップを引き出すこと、そしてチームワークを自然形成させるリーダーが現れ「役割分担を指導する能力」が発揮されることを期待します。

ロータリアン（ロータリーの会員）は真剣にお手伝いをお願いします。またローターアクトのメンバーはライラセミナー研修生のアドバイザーとして協力をお願いします。

メインテーマについて

私が体験した経験から「人生の目標」と致しました。子供が小学校1年の春登校拒否になり、自信を付ける為に何かをさせようと考え自分の趣味のソフトテニス指導を行おうと考え地域の子供達を集め、ゆかわJrソフトテニスクラブを立ち上げました。教える限り大きな目標を決めました。ソフトテニスは日本で生まれたスポーツです。「日本一 全国制覇」合い言葉に20年近く指導してきました。

子供達はインターハイ優勝・中学校都道府県対抗全国大会優勝・インカレ団体優勝した選手やソフトテニスの最高峰 天皇賜杯で優勝した選手、又2006年2007年2008年は全国小学生全国大会で和歌山県代表メンバーとして全国制覇をした選手が出ました。私はこのような体験から子供立ちから目標の大切さを教えて頂いたと思います。研修生の皆様も研修の最初に記入する目標用紙に、小さな目標から、かないそうもない大きな目標までたてて下さい。その目標を実現させる為に何をしたら良いのか考えて下さい。努力・工夫をすれば、望みはかないです。

R Y L A とは

ロータリー青少年指導者養成プログラム

——Rotary Youth Leadership Awards ——

国際ロータリーでは、Rotary Youth Leadership Awards の頭文字をとって、RYLA《ライラ》と言っています。14歳から30歳までの若い人のためのプログラムで1971年に公式に採用したものです。若い人々に指導者及び善良な市民としての資質を身に付けるとともにそれを伸ばすことを目的としています。(2640地区では、インターアクトが現在中学生から高校生までを対象としていますので、留学生を除いて13歳から30歳までの人を対象としています)

RYLAの始まりとその発展

1959年オーストラリアのクィーンズランド州が自治権獲得100周年を祝うため英国の王女(アレクサンドラ王女)をお呼びした時に、王女と同世代の青年達を招いて記念式典に参加させて王女に会わせました。ブリスベンロータリークラブが、全オーストラリアから集まった若者達のお世話をしましたが、彼らが大変素晴らしい人達であったことから、ロータリアン達は、この催しを毎年行うことと決め、各クラブから2人ずつの青年を選んでブリスベンに招待し、1週間文化・社会・教育プログラムに参加させることにしました。これがセミナー方式のRYLAの始まりです。またもう一方、アメリカでは1949年頃から、カリフォルニア、ミシガン、ペンシルバニアの各州で、数地区で高校生の男子をあつめて指導者キャンプというものを開発しました。参加者が指導能力を得る機会・場所を得て、自分の指導技術を磨くというプログラムです。これが教育的レクリエーション活動による、指導者キャンプ方式のRYLAの始まりです。

ロータリークラブが長期的に青少年育成のために、提唱し組織している団体にインターアクトクラブ、ローターアクトクラブがあります。

インターアクトクラブは、中学生から高校生までで組織されるもので、ロータリークラブから各地の中学・高校に提唱され受け入れられ創立されています。国際理解・地域奉仕を主体として、互いの友情を深めあっています。

ローターアクトクラブは18歳から30歳までの青年で組織されるもので、ロータリークラブがそれぞれの地域で提唱し、近隣の若者を集めて組織されています。地域奉仕・クラブ奉仕・国際奉仕などを主体として、様々な企画をたてて奉仕や親睦のための事業を展開しています。

ありがとう運動

心を込めなくてもよい、大きな声で始めよう。

《大きな声を出し続けば自然と心がついてきます》

先ず始めよう——おはようございます おはようございます

おはようございます おはようございます

続けてあと6回声を出そう

1、ありがとう ありがとう ありがとう ありがとう

ありがとう

続けてあと45回声を出そう

2、うれしい うれしい うれしい うれしい

3、大好き 大好き 大好き 大好き

ありがとうの5文字に秘められた不思議な力

人間は自分の発した言葉で人生を作ります。

最初は口先だけだった『ありがとう』が、何万回と繰り返す内に

ありがとうと言える事が沢山起こります。

心からありがとうの言葉が言えるようになります。



国際ロータリー第2640地区ガバナープロフィール

氏名 村上 有司(むらかみ ゆうじ)
生年月日 1940年7月18日
住所 〒646-0036 和歌山県田辺市上屋敷2丁目14番35号
最終学歴 明治大学法学部 卒業
現職 村上法律事務所 所長・弁護士

ロータリー歴

1970年 田辺RC入会
1980年 田辺RC退会
1984年 田辺RC再入会
1972～73年 クラブ出席委員長
1979～80年 クラブ唱歌委員長
1990～91年 クラブロータリー財団委員長
1996～97年 クラブSAA
2005～06年 田辺RC会長
2006～07年 地区第1組ガバナー補佐
2007～08年 ロータリー情報委員長
2008～09年 ガバナーエレクト・地区危機管理委員

第2640地区 ロータリークラブ 一覧

| | |
|------------------|-----------------|
| 有田ロータリークラブ | 大阪狭山ロータリークラブ |
| 有田南ロータリークラブ | 大阪金剛ロータリークラブ |
| 有田 2000 ロータリークラブ | りんくう泉佐野ロータリークラブ |
| 藤井寺しゅらロータリークラブ | 堺ロータリークラブ |
| 御坊ロータリークラブ | 堺フェニクスロータリークラブ |
| 御坊東ロータリークラブ | 堺東ロータリークラブ |
| 御坊南ロータリークラブ | 堺北西南西ロータリークラブ |
| 羽曳野ロータリークラブ | 堺泉ヶ丘ロータリークラブ |
| 羽衣ロータリークラブ | 堺北ロータリークラブ |
| 阪南ロータリークラブ | 堺南ロータリークラブ |
| 橋本ロータリークラブ | 堺中ロータリークラブ |
| 橋本紀ノ川ロータリークラブ | 堺西ロータリークラブ |
| 岩出ロータリークラブ | 堺おおいずみロータリークラブ |
| 和泉ロータリークラブ | 堺清陵ロータリークラブ |
| 和泉南ロータリークラブ | 堺東南ロータリークラブ |
| 泉大津ロータリークラブ | 泉南ロータリークラブ |
| 泉佐野ロータリークラブ | 新宮ロータリークラブ |
| 海南ロータリークラブ | 白浜ロータリークラブ |
| 海南東ロータリークラブ | 忠岡ロータリークラブ |
| 海南西ロータリークラブ | 太子ロータリークラブ |
| 貝塚ロータリークラブ | 高石ロータリークラブ |
| 貝塚コスモスロータリークラブ | 高師浜ロータリークラブ |
| 関西国際空港ロータリークラブ | 田辺ロータリークラブ |
| 河内長野ロータリークラブ | 田辺はまゆうロータリークラブ |
| 河内長野東ロータリークラブ | 田辺東ロータリークラブ |
| 岸和田ロータリークラブ | 富田林ロータリークラブ |
| 岸和田東ロータリークラブ | 富田林南ロータリークラブ |
| 岸和田北ロータリークラブ | 和歌山ロータリークラブ |
| 岸和田南ロータリークラブ | 和歌山アゼリアロータリークラブ |
| 粉河ロータリークラブ | 和歌山東ロータリークラブ |
| 高野山ロータリークラブ | 和歌山城南ロータリークラブ |
| 串本ロータリークラブ | 和歌山北ロータリークラブ |
| 松原ロータリークラブ | 和歌山南ロータリークラブ |
| 松原中ロータリークラブ | 和歌山中ロータリークラブ |
| 美原ロータリークラブ | 和歌山西ロータリークラブ |
| 那智勝浦ロータリークラブ | 和歌山東南ロータリークラブ |

第29回 2009～10年ライラセミナープログラム

実施日：2010年3月20(土)、21日(日)、22日(月)

実施場所：田辺市目良 元島館

| 時間 | 3月20日(土) | 時間 | 3月21日(日) | 時間 | 3月22日(月) |
|-------|---|-------|-------------------------------|-------|--|
| 9:00 | 委員会打ち合わせ | 6:30 | 起床 | 6:30 | 起床 |
| 10:00 | 登録受付(ロビー) | 7:00 | ラジオ体操 ありがとう運動 | 7:00 | ラジオ体操(海岸) ありがとう運動 |
| 10:30 | 部屋チェックイン 着替え(各部屋にて) | 7:20 | 朝食 | 7:20 | 朝食 |
| 10:50 | オリエンテーション グループ編成 | 7:50 | 注意事項の確認 | 7:50 | 天神崎自然観察 初山・弓場様 |
| 11:30 | 開講式 | 8:00 | 田辺の歴史・風土を 徒歩で散策 | 9:00 | |
| 12:00 | 昼食(大食堂) 食事後武道館へ移動 | 9:30 | 闘鶏神社へ集合 | | ビジネスナー研修 オフィスメイト 休憩 |
| 13:00 | 基調講演(武道館) 前窪パストガバナー | 10:00 | 歓迎セレモニー 記念写真 弁慶市体験販売 | 11:30 | 3日間の感想文作成 |
| 13:30 | 自衛隊の基本教練 集合・準備体操その他 | 12:00 | 昼食 | 12:00 | 昼食 部屋の清掃 |
| 14:00 | 基本教練・ロープワーク | 15:30 | 帰館 | 12:30 | チェックアウト 1分間スピーチ (研修生のみ) 閉講式(教室) |
| 15:00 | 基調講演 ロータリアンのみ 中島パストガバナー | 16:00 | 夕食調理開始 グループ別に | 14:00 | |
| 16:00 | 手旗訓練 | 17:00 | 夕食 | 14:30 | ライラ委員会会議 看板の撤去 |
| 16:30 | 終了後 元島館へ | 18:00 | 入浴 | 15:00 | 清掃、片付 |
| 17:00 | 夕食 | 19:00 | グループ討論会 地域の方と交流した事 について | 15:30 | 終了 |
| 18:00 | 入浴 | | | | |
| 19:00 | グループ討論会 討論テーマ 「人生を楽しくすごす為 のナー」 (結果発表) | | グループ討論会 発表 (ロータリアン) 発表 | | |
| 22:30 | 就寝 | 22:30 | 就寝 | | |

第29回ライラセミナー開講式 式次第

司会進行 橋本 竜也

11時30分から12時で終了

1. 開会点鐘 RI2640地区ガバナー 村上 有司
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング 「我らの生業」
4. 開会宣言 2640地区青少年ライラ委員会 委員長 丸山信仁
5. 歓迎の挨拶 青少年・ライラアドバイザー 瀧 成和(5分)

IM一組ガバナー補佐

6. 来賓 ご紹介 委員長 丸山信仁(2分)
7. 青少年ライラ委員会委員・サポーター の紹介

瀧成和アドバイザー・橋本竜也副委員長・横田達夫地区担当幹事、

垣内欣久・成瀬宏司・澤田雅之・中川秀彰・澤井久和・蔵納幸洋

8. 代表 ご挨拶
RI2640地区ガバナー 村上 有司(5分)
元島館 館長 野久保 勲様(5分)

9. 閉会点鐘 RI2640地区ガバナー 村上 有司

4つのテスト

The 4 way test

(言行はこれに照らしてから) Is it the Truth Is it Fair to all concerned

真実かどうか Will it build Goodwill and Better Friendships?

みんなに公平か Will it be Beneficial to all concerned?

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

第29回ライラセミナー基調講演 式次第

司会進行 垣内 欣久

9. 講師紹介

青少年・ライラ委員 垣内 欣久



和歌山南口ロータリークラブ会員

第23回ライラセミナー 2003～2004年度

ガバナー

前窪貫志ガバナーエレクトの略歴

学 歴 1958年3月 早稲田大学第2理工学部 建築学科卒業

公 職 民事調停委員 和歌山県建設紛争審査会委員 早稲田大学商議員

10. ライラセミナー基調講演 「ロータリーとは 今年のライラでは」

第2640地区 パストガバナー

前窪 貫志様

11. 謝辞 2640地区青少年ライラ委員会

委員長 丸山信仁

基本教練スケジュール

訓練準備

| 時間 | 内容 | 備考 |
|-------------|-------|----------------------|
| 13:30~13:35 | 集合 | 挨拶 |
| 13:35~13:45 | 準備体操 | ラジオ体操 代表者により実施 |
| 13:45~13:55 | ランニング | 体を温める |
| 13:55~14:00 | 集合 | 班別に集合 (4つの班に分かれる) |

班別実施

| 時間 | 内容 | 備考 |
|-------------|--------|-----------|
| 14:00~15:00 | 基本教練 | 基本教練:1~2班 |
| | 手旗訓練 | 手旗訓練:3班 |
| | ロープ使用法 | ロープ使用法:4班 |
| 15:00~16:00 | 基本教練 | 基本教練:3~4班 |
| | 手旗訓練 | 手旗訓練:1班 |
| | ロープ使用法 | ロープ使用法:2班 |
| 16:00~16:10 | 集合 | 異常の有無確認 |

16:15~

第29回ライラセミナー記念講演 式次第

司会進行 中川 秀彰

12. 講師紹介 青少年・ライラ委員 中川 秀彰

第5回ライラセミナー 1986～1987年度、2004～2005年度ガバナー

13. ライラセミナー記念講演

「ロータリーと青少年」

中島治一郎 (なかじま じいちろう)

最終学歴米国ニューヨーク市コロンビア大学

職業 ナカボーゾジャパン株式会社 相談役

その他 泉大津商工会議所名誉顧問 帝塚山学院 理事



ロータリー歴

1961年 泉大津ロータリークラブ入会

1982～83年度 クラブ会長

1986～87年度 RI2640地区ガバナー

1988年/90年 際協議会ディスカッション・リーダー

1989～92年度 ロータリー財団地域コーディネーター

1992～95年度 ロータリー財団管理委員会委員

2004～05年度 RI2640地区ガバナー

2000～06年度 RI 監査運営審査委員会委員

14. 謝辞 2640地区青少年ライラ委員会

委員長 丸山信仁

第29回ライラセミナー閉講式 式次第

司会進行 橋本竜也

15. 開会点鐘 2640地区青少年ライラ委員会

委員長 丸山信仁

16. 国歌斉唱

17. ライラセミナー講評 青少年・ライラアドバイザー

瀧 成和

18. 閉講の辞 2640地区青少年ライラ委員会

委員長 丸山信仁

19. ロータリーソング 手に手つないで

感謝の拍手

20. 閉会点鐘 2640地区青少年ライラ委員会

委員長 丸山信仁

登録 研修生 102名

ロータリアン 116名



連休の初日で高速道路が海南で渋滞。

2時間遅れで到着した研修生やロータリアンがいました。

中には田辺に着くことをあきらめて、途中でUターンして帰られたロータリアンもいたようです。10名の研修生が欠席、他にも連絡がないまま欠席するという研修生もいましたがライラキーマンの連携がよく、昼食を無駄にしないという事も最小限におさえられました。



10時50分～のオリエンテーション、

11時30分～の開講式に続き昼食後、場所を「武道館」に移し前窪貫志パストガバナーによる基調講演の後、自衛隊による基本教練にはいりました。

2組に分かれ、行進・基本姿勢のほか、災害時に役立つ手旗信号・ロープワークを教わりました。

研修生達にとって初めてのことでありましたが、とても熱心に取り組んでいました。



研修生が自衛隊の訓練を受けている間、午後3時～ロータリアンの勉強会がありました。

中島治一郎パストガバナーによる記念講演「ロータリーと青少年」です。

この後、場所を変えてグループディスカッションを行いました。



研修生は夕食後、午後7時～サブテーマ「人生を楽しく過ごすためのマナー」をテーマとして約2時間にわたり各チームごとに討論をし、その後各5分で討論内容を発表しました。写真は研修生・小柳君の発表風景です。このころにはチームリーダーのリーダーシップやメンバーの協調性などが見ててきます。また、1日目からメンバーそれぞれが自分の意見をはっきりと発言し、それらの意見をチームの意見としてまとめる力がありました。さらにローターアクトは研修生達をうまく導いており、とても頼もしい存在でした。



初日の夜の嵐が嘘のようなお天気に恵まれました。

ただ風が強く、黄砂で霞がかかってしまったような状況です。

朝6時30分起床。

7時～浜辺に出て全員でラジオ体操。

そしてありがとう運動を行いました。

朝食後、チームリーダーが集合し闘鶏神社までのルート説明、注意事項、昼食のお金(朝市でそれぞれが昼食を調達)



夕食のカレー作りの材料購入のお金、ゴミ拾いの袋と軍手を渡し、午前9時30分闘鶏神社到着を目標にグループ別に出発しました。

写真は闘鶏神社での歓迎セレモニー。

新世代交流会も合流しました。



毎月第3日曜日、闘鶏神社の馬場で開催されている地元の朝市「弁慶市」に特別参加させていただきました。約70店が出店している市に、各チームリーダーがメンバーを振り分け、販売体験を行いました。地元の特産品がメインの市であることから、地域の歴史や特徴などを教えていただきながら多くの人とコミュニケーションをとることができました。



また、ほとんどの研修生が初めての販売体験でしたが、元気な声でお客さんに声をかけたり、接客や商品説明をするなど、楽しみながらたくさんの方のことを学んだようです。何よりも良かったのが、出店されていた地元業者さんたちに「元気な研修生たちが来てくれたおかげで朝市がにぎわった」と喜んでもらったことです。販売体験の後は各自「弁慶市」で昼食を購入し、地元の味を楽しみました。

昼食会場は田辺はまゆうクラブ様のご厚意で、例会場である闘鶏神社社務所を開放してくださいました。



昼食後、各グループに分かれ、地元の方とのコミュニケーションを目的に田辺市内を散策。この時チームリーダーに渡したのは、ほとんど目印のない簡単な手書き地図のみ。(わからないときは地元の方にきくためです)。各グループには安全のためにロータリアンが3名ずつつきましたが、一切のアドバイスはしないという約束です。

まずは「南方熊楠記念館」を訪問。記念のピンバッジと絵葉書をお土産にいただきました。



夕食のカレーの材料購入もこの散策内にします。前日、くじ引きで予算を決めました。

5000円のチームは2チーム、

3500円のチームは3チーム

2500円のチームは3チーム。

限られた予算内で美味しいカレーを作らなければなりません。

なぜなら「1番カレー」の審査があるからです！



各グループは個性を出しながら「美味しいカレー作り」に奮闘。
フルーツを入れたり、かくし味にチョコレートを入れたり…
さあ、どんな味になるか！
この時の研修生はみんなイキイキとしていました。
包丁使いが上手な研修生、
色々なアイデアを出す研修生、
ひたすら掛け声でみんなを盛り上げる研修生…
各グループのまとまりが強くなってきました。



いよいよ「1番カレー」の審査です。
自分達のカレーがいかにかい美味しいか、
どんなところにこだわったかをプレゼンして審査員に食べていただきます。



真剣に、涙目になりながらも8種類のカレーを食べる審査員達。
「もうお腹いっぱい。もう入らん」とギブアップ状態。味はもちろん、見た目も審査の重要ポイント。さて、村上ガバナーが「1番カレー」の発表をします！



大盛り上がりの食事の後は入浴。

それから、地元の方とどのように交流したかを
チームごとに発表します。

パソコンを使って写真を見せながら発表するチー
ムもあれば、手書きのイラストなどで発表するチ
ームもあり、さまざまです。



3日目、最終日となりました。

この日も早朝からラジオ体操とありがとう運動
をしました。

前日よりも大きな声が出ています。

海に向かって「ありがとう！ありがとう！」

「大好き！大好き！」を繰り返すと、とても気持
ちがいいです。

研修施設は「ナショナルトラスト運動、日本第1
号」となった「天神崎」にあります。

この日はナショナルトラスト会長の初山氏に來
ていただき、市民が天神崎を守った歴史につい
て現場で話していただきました。

そして役員でもある弓場さんに湿地を案内して
もらい、そこに生息する生物について教えてい
ただきました。





元島館に戻り、「ビジネスマナー」の勉強です。田辺市内の株式会社オフィスメイト社長の坂本昇子さんが講師として来ていただきました。おじぎの仕方や名刺の交換、接遇など、社会人として身につけておくべきマナーをわかりやすく、ていねいに教えていただきました。



研修生全員による1分間スピーチ。3日間の感想を発表してもらいました。はじめて出会った人達との共同生活。とまどいや照れくささ、外国の文化の違いなどもグループでの行動やたくさんの会話、助け合い、コミュニケーションで多くの経験と気づきを得たようです。全員が素晴らしい発表をしました。その中から最も素晴らしい発表をした研修生が1人選ばれました。村上ガバナーから素敵な記念品を受取りました。